

MOV products

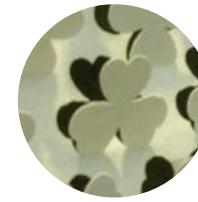
大阪のものづくりが産み出したイイモノ大集合。
奇抜なカタチやデザイン、機能美も豊かな製品を紹介。

**B**

和紙の表現の可能性を広げる
光と影のタペストリー アート



和紙は試行錯誤を重ねた
結果、最もカットしやすい
厚さ0.25mmの伊勢和紙を使用。



C 安心・安全性と利便性を
両立させた日本製子供のせ



ヘッドレストには
ヘルメットと同じ衝撃吸収率約90%の
超衝撃吸収パッドを採用。

A

プロダクトデザインや商品企画をはじめ、モノづくりの総合支援を行うアイ・シー・アイデザイン研究所。同社が開発・販売するシリコンブロック『ノシリス』は、国内外の様々なデザイン賞を受賞して注目を集めている。「私が孫に与えたいと思う玩具を形にしたんです」と開発のきっかけを語るのは、代表取締役でありデザイナーの飯田吉秋氏。舐めても安全な素材で落としても音がせず、なおかつ子供の創造性や想像力を刺激するような玩具を開発するべく悩む中で、シリコンという素材に出会い『ノシリス』が誕生した。「儲けるためのデザインではなく、純粋な誰かのためのデザインは、同じ想いを持つ人々の心に響く『アクセシブルデザイン』になる」と飯田氏。特許も取得し、『ノシリス』の舞台は日本から世界に広がりつつある。

✉ nociilis

有限会社アイ・シー・アイデザイン研究所

『アクセシブルデザイン』を実現する独自手法『ミルメソッド』などを活用して商品開発を行う。『ノシリス』はIC!オンラインショップで1個700円、8個セット6,300円で販売中。製造は大阪の錦城謹謹株式会社が担当。
<http://www.ici-design.co.jp/>

B

和紙や小間紙を専門に取扱う卸問屋である和紙商 小野商店。巨大な和紙タペストリー『坤柄紙(こんがらし)』は、和紙演出士である代表・河手宏之氏の「グラフィックデザインを切り抜いた大きな和紙をタペストリーのように飾れば面白いんじゃないかな」というアイディアから生まれた。当初は和紙からイメージされる和柄のデザインが多かったが、最近は星空やギリシャ神話、ジャズといった『洋』をモチーフに制作しても非常に好評だったという。「和紙が持つ表現の幅広さには、私自身がいつも驚かされますね」と河手氏。今回はディスプレイや施設のエントランスを飾るアイテムとして『坤柄紙』を用いた行灯を開発した。今後は本物の和紙が持つ素晴らしい世界中に広めるべく、海外展開も進めていく予定だ。

✉ 小行灯「月」

和紙商 小野商店

『坤柄紙』は河手氏のほか、グラフィックデザイナーの牧野博泰氏、イラストレーターの中野クニヒコ氏、包装士の鈴木美奈子氏のコラボによって生まれている。背面の照明で坤柄紙が浮き上がる行灯は、高さ1500×幅350×奥行350mmで、受注生産となる。

<http://visual-mare.com/kongara/>

C

自転車の子供のせ国内生産トップを誇るオージーケー技研の最新型子供のせが『RBC-011DX3』だ。5点式シートベルトやスライド式ヘッドレスト、アジャスタブルステップなど、子供の安全や快適性と母親の利便性に最大限配慮した機能が多数搭載されている。オージーケー技研の強みは、金型づくりから製造まで自社で一貫生産できる点にある。「開発中や発売後に改善点が見つかれば、金型レベルからすぐに改善していきます。ですから他社に比べて改善スピードや商品力の向上スピードが速い。こうした体制も、当社がメイド・イン・ジャパンにこだわり続けてきたからなんですよ」と営業部係長の田島剛毅氏。また、6色での展開はお客様の声を反映させたという。そうした姿勢も見逃せない。

✉ RBC-011DX3

オージーケー技研株式会社

国内シェアNo.1の子供のせをはじめ、ハンドルグリップなど、自転車関連のプラスチック製品を中心に展開。近年は『OGKベビー』を設立し、安心・安全を追求した国内産の赤ちゃん向け玩具の販売にも取り組む。

<http://www.ogk.co.jp/>

編集後記

ものづくりをしている会社が羨ましく思えたことがあって「いいですね。仕事が形になって、それにくらべ僕たちの仕事(広告代理店勤務時代)はやり遂げてもその瞬間、無くなってしまいそうで」と言ったら、「なに言っているんですか。ものがたりを作っているでしょ」と言われたのを覚えています。「ものづくりの前に人づくり(本文は、人そだて)」どんな業種業態でも同じ原理原則があると思います。企業は人とともに成長する。常にこのことを言動の中心に据えて、長く続く愛される企業を目指したいと思いました。(浅野)

スタッフ

企画・編集
株式会社ファイコム

編集長 浅野 由裕 (faycom)	写真 北尾 浩幸	アートディレクター 北村 竜司 (CURRENT)
ライター 清野 礼子／中島 公次／中 直照／山口 裕史		印刷 有限会社山添

MOVpress 03 OCTOBER 2012

大阪のものづくり企業を知る。動く。繋がる。[ムーブプレス]

発行

MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)
大阪府商工労働部 商工振興室 ものづくり支援課
〒577-0011東大阪市荒本北1丁目4番17号(クリエイション・コア東大阪内)
TEL_06-6748-1011 FAX_06-6745-2362
<http://www.m-osaka.com/>

2012年10月10日 発行